

都 市 整 備 部

(単位：円)

都市計画課		一般会計															
		款		項		目		決算書頁									
		05	労働費	01	労働諸費	01	労働諸費	110～111									
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		企業立地雇用等促進奨励事業												
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率									
8,900,000		8,900,000	0		0		100.0%										
1 事業目的		市内で一定規模以上の事業所の新設を行う企業及びその従業員に対して奨励措置を講じ、企業の進出を促すとともに、市民の雇用機会の拡大や定住の促進を図る。															
2 事業内容		■奨励金交付対象 ・市内在住者雇用奨励金 指定企業であり、市内に住所を有する者を従業員として1年以上雇用した企業 ・従業員転入促進奨励金 指定企業であり、市外に住所を有する従業員が市内に転入し、1年以上居住した企業 ・従業員持家取得促進奨励金 指定企業の従業員のうち、市内に持家を取得した者 ■奨励金交付額 <table><tr><td>・市内在住者雇用奨励金</td><td>1件あたり30万円</td><td>25件</td></tr><tr><td>・従業員転入促進奨励金</td><td>1件あたり30万円</td><td>3件</td></tr><tr><td>・従業員持家取得促進奨励金</td><td>1件あたり50万円</td><td>1件</td></tr></table>							・市内在住者雇用奨励金	1件あたり30万円	25件	・従業員転入促進奨励金	1件あたり30万円	3件	・従業員持家取得促進奨励金	1件あたり50万円	1件
・市内在住者雇用奨励金	1件あたり30万円	25件															
・従業員転入促進奨励金	1件あたり30万円	3件															
・従業員持家取得促進奨励金	1件あたり50万円	1件															
3 成果		■平成28年度は、25件の市民雇用と、3件の市内転入、1件の持家取得に係る交付があり、市民の雇用機会の拡大と、定住の促進につながった。 ■各種会議や企業立地イベント等において、パンフレットを配布することにより、奨励制度をPRすることができた。															

(単位：円)

都市計画課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		05	労働費	01	労働諸費	01	労働諸費	110～111	
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		企業誘致推進事業（繰越明許費分）				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1, 000, 000		936, 967		—		63, 033		93. 7%	
1 事業目的		企業誘致に重点的に取り組み、雇用の創出と産業の振興を推進する。							
2 事業内容		■先進地視察の実施 ・佐賀県鳥栖市、大分県日田市 ・岐阜県土岐市 ■PR用パンフレット等の作成 ・PRパンフレット作成業務 8, 500部 ※作成した資料は、産業振興課の「起業・創業支援事業（繰越明許費分）」（決算書頁119）と共通のものを作成している（同時発注により費用を抑制）。 ・企業向けPRパンフレット（企業誘致条例編）増刷業務 1, 000部 ・PR用クリアファイル作成業務 3, 500部 ・PR用懸垂幕作成業務 1部							
3 成果		■視察では、本市が進める企業立地と絡めた定住促進の取組みの重要性を確認できたほか、立地企業と地元企業のマッチングによる地域産業の活性化に向けた取組み、立地後のバックアップの必要性など、新たな知見を得た。 ■パンフレット等は、企業立地のイベントを始め、様々な会議で活用、配布し、本市をPRすることができた。							

(単位：円)

都市計画課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	01	都市計画総務費	126～127
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		農業大学校用地活用事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
94,000		26,293	0		67,707		28.0%	
1 事業目的		埼玉県農業大学校跡地の活用に向けた準備を、埼玉県と連携して進める。						
2 事業内容		■農業大学校跡地活用に向けた協議 農業大学校跡地活用に向けて、都市計画の変更や圏央鶴ヶ島インターチェンジの形状を含む道路計画、給排水計画、緑地などの環境施設計画等について、埼玉県等関係機関と協議を行った。						
3 成果		■都市計画決定の変更や跡地周辺のインフラ整備などについて、埼玉県等関係機関と協議、検討を進めたことで、埼玉県が農業大学校跡地活用に向けた環境影響評価に着手することとなった。						

(単位：円)

都市計画課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	01	都市計画総務費	126～127
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		藤金土地区画整理事業見直し準備調査事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率		繰越除く執行率	
5, 817, 000	5, 400, 000	0		417, 000	92. 8%			
1 事業目的	都市計画決定後、事業未着手となっている藤金土地区画整理事業について、地区の現状把握と課題整理を踏まえ、具体的な基盤施設整備や整備手法などを検討する。							
2 事業内容	■藤金地区土地区画整理事業見直し準備調査 施行区域全域を対象とした土地区画整理事業の課題や事業実施の必要性及び実現性等について、以下の項目を検証した。 ・土地区画整理事業の実現可能性の検討 ・土地区画整理事業の事業化の可能性評価 ・地域整備の方向性と地域整備計画案 ・土地区画整理事業見直しに向けた今後の取組み							
3 成果	■検証の結果、施行区域全域（19. 7 h a）に係る土地区画整理事業の必要性や実現性は高くないとの評価だった。このため、具体的な整備箇所や整備内容を絞り込む「地域整備計画案」を整理するとともに、土地区画整理事業を縮小する手法や地区計画による手法についても検討した。							

(単位：円)

都市計画課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		08	土木費	03	都市計画費	02	交通政策費	126～127	
政策 3		快適に暮らせるまち		事業名		市内公共交通運行事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
69,673,000		68,190,370		0		1,482,630		97.9%	
1 事業目的		高齢者、障害者、交通手段を持たない方など、いわゆる交通弱者の市内の移動手段を確保するほか、通勤や通学、買い物などにも利用できる市内公共交通機関を確保する。							
2 事業内容		■民間バス事業者及び民間タクシー事業者との運行協定の締結 収支に損失が生じた場合、運行協定に基づき、事業者に対して損失の補償を行った。 ・バス運行事業者 1社 ・タクシー会社 5社 ■つるバス・つるワゴンの運行及び利用状況 定期運行によるバス1路線（バス2台）、ワゴン6路線（ワゴン6台）が、年末年始（12月29日～1月3日）を除く359日間、運行された。 ・つるバス利用者数 172,784人 ・つるワゴン利用者数 111,380人 ・合計 284,164人							
3 成果		■要望の多かった関越病院への直行路線を新設したことで、高齢者等が容易に通院できる交通手段が確保できた。 ■坂戸市との特別乗車証の相互利用による運賃の共通割引、つるワゴン車内の回数券販売等のサービスの開始により、利便性の向上を図ることができた。							

(単位：円)

都市計画課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		08	土木費	03	都市計画費	02	交通政策費	126～127	
政策 3	快適に暮らせるまち			事業名		公共交通バリアフリー化促進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
373,000		373,000		0		0		100.0%	
1 事業目的		「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の施行に伴い、国、県、市町村がノンステップバスを導入する路線バス事業者に対して補助を行い、高齢者や身体障害者等の方が路線バスを利用する際の利便性と安全性の向上を図る。							
2 事業内容		■ノンステップバスを導入するバス事業者への補助金の交付 ノンステップバスの導入価格から、国が定める標準車両価格の差額分（バリアフリー化の改造・設備費用）を補助金として、国、県及び市が協調して補助した。 ・補助金交付要綱 鶴ヶ島市ノンステップバス導入促進事業費補助金交付要綱 ・負担割合 国〔1/2〕、県〔1/4〕、鶴ヶ島市〔1/4〕 ・対象バス事業者 東武バス株式会社（運行は東武バスウエスト株式会社） ・対象路線 つるバス南北線（若葉駅西口～老人福祉センター）							
3 成果		■床面を超低床構造として乗降ステップをなくしたノンステップバスの導入により、高齢者だけでなく、車椅子やベビーカー利用者も、乗降時や車内（フラットスペース）の移動等が、容易になった。 ■南北線のノンステップバスの導入をもって、市内を運行するバス全車両がノンステップバス化された。							

(単位：円)

都市計画課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	04	住宅費	01	住宅管理費	130～131
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		市営住宅管理事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
26, 273, 000		26, 273, 000	0		0		100. 0%	
1 事業目的		健康で文化的な生活を営むための住宅を整備し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
2 事業内容		■市営住宅の借上げ 住宅に困窮している市民に対し住宅を提供するため、埼玉県住宅供給公社から新町住宅（29戸）を借上げた。 ・ 場所 鶴ヶ島市新町三丁目21番地14 ・ 構造、階数 鉄筋コンクリート造、3階建て ・ 借上げ期間 平成16年10月から平成36年9月まで ■管理代行者への委託業務 良好な居住環境を確保し、適切かつ効率的に市営住宅を管理するため、管理代行制度を活用し、埼玉県住宅供給公社に管理代行を委託した。 ・ 入居管理業務 入居者募集、入居手続き（適宜）、入居者からの問合せ、安否確認 ・ 財産管理業務 退去時検査、高額所得者面談 ・ 債権管理業務 収入申告、家賃収納（督促含む）						
3 成果		■住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で賃貸することができた。 （管理戸数29戸）						

(単位：円)

都市計画課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	04	住宅費	01	住宅管理費
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		空き家等対策推進事業（繰越明許費分）		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率	
2,260,000	1,992,600	—	267,400		88.2%		
1 事業目的	適切な管理が行われていない空き家等が防犯、防災、衛生、景観等の観点から、地域住民の住環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、市民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その住環境の保全を図り、あわせて空き家等の活用を促進する。						
2 事業内容	■鶴ヶ島市空き家等実態調査業務 市内全域の空き家等の件数及び分布状況等を把握し、計画的な適正管理や利活用、並びに空き家等対策計画の策定のために必要となる総合的な空き家等対策の基礎資料とするため、調査を実施した。 ・現地調査図及び現地調査票作成 ・空き家等現地調査 ・アンケート調査票作成 ■鶴ヶ島市空家等対策連絡会議等 各部を横断して施策を推進し、空き家等の適正な管理及び活用の促進を図るため、会議を開催した。 ■空き家相談 空き家についての苦情など適正に管理できていない建物に対し是正指導を行うことその他、売却や土地の利活用、相続、租税措置など空き家に関する全般の相談を受けた。						
3 成果	■市内全域の空き家等の件数及び分布状況等を把握（市内空き家件数180件）し、計画的な適正管理や利活用、並びに空き家等対策計画の策定のために必要となる総合的な空き家等対策の基礎資料とすることができた。						

(単位：円)

道路建設課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		08	土木費	02	道路橋りょう費	02	道路維持管理費	120～121	
政策 3	快適に暮らせるまち			事業名		橋りょう・道路維持管理事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
82,858,000		76,169,419		0		6,688,581		91.9%	
1 事業目的		舗装路面及び橋りょう等にあつては、経年劣化に伴い、損傷を来たしていることから計画的に修繕を行い、交通の安全と通行の円滑化を図る。							
2 事業内容		「鶴ヶ島市の橋の長寿命化修繕計画」に基づき、損傷を来たしている橋りょう（鶴ヶ丘3号橋（市道924号線）、栄橋（市道154-2号線））の修繕工事を実施した。 また、舗装路面の損傷が激しい市道253号線及び市道547-1号線について、舗装修繕工事を実施した。 ■関越自動車道と交差する跨高速道路橋の橋りょう修繕工事委託 鶴ヶ丘3号橋、栄橋（南町外1地内） コンクリート片はく落対策工 1,034㎡ ■舗装修繕工事 市道253号線 大字藤金地内 延長：153.0m、幅員：5.5～8.6m 舗装工：路面切削401㎡、基層281㎡、表層1,030㎡、区画線 一式 ■舗装修繕工事 市道547-1号線 富士見地内 延長：208.9m、幅員：10.0m 舗装工：路面切削2,310㎡、表層2,310㎡、区画線 一式							
3 成果		■安全で安心な生活道路が確保され、市民の生活環境の向上に繋がった。							

(単位：円)

道路建設課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		一本松地区地区計画住環境整備事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率	
193,456,000	185,124,199	4,668,000	3,663,801		95.7%	98.1%	
1	事業目的 地区計画で定められた地区施設道路等の整備を行うことにより、地区環境の充実を図る。						
2	事業内容 一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、用地取得及び道路整備等を実施した。 ■用地取得 ・新設道路（区画道路第2号）：120.54㎡ ・私道（位置指定道路）寄附：9か所 ・後退用地寄附：26筆 ■道路改築工事 市道1310号線外2（大字中新田地内） 延長：358.1m、幅員：4.0m・6.0m、排水工：側溝 493m、集水桝 6基 擁壁工：L型擁壁 64m、防護柵 一式 舗装工：不陸整正 372㎡、路盤 1,041㎡、表層 1,410㎡、区画線 一式 ■道路改築工事 市道74号線外2（大字中新田地内） 延長：293.5m、幅員：4.0m・6.0m、排水工：側溝 498m、集水桝 8基 擁壁工：L型擁壁 51m、防護柵 一式 舗装工：路盤 1,366㎡、表層 1,360㎡、区画線 一式 ■道路改築工事 市道73号線外2（大字中新田地内） 延長：273.0m、幅員：4.0m・6.0m、排水工：側溝 450m、集水桝 10基 擁壁工：L型擁壁 17m、防護柵 一式 舗装工：路盤 835㎡、表層 833㎡、区画線 一式 ■道路改築工事 市道71号線外2（大字中新田地内） 延長：376.0m、幅員：4.0m～6.2m、排水工：側溝 654m、集水桝 10基 擁壁工：L型擁壁 79m、防護柵 一式 舗装工：路盤 1,346㎡、表層 1,350㎡、区画線 一式 ■道路改築工事 認定外道路B④（大字下新田地内） 延長：119.8m、幅員：4.2m・6.2m、排水工：側溝 232m 舗装工：路盤 479㎡、表層 486㎡ ■道路改築工事 認定外道路E⑥外2（大字中新田地内） 延長：61.7m、幅員：4.0m・4.2m、排水工：側溝 125m 舗装工：路盤 202㎡、表層 202㎡ ■発生土運搬業務（大字下新田地内） 掘削工：掘削 3,500㎡、土砂運搬 3,490㎡、整地 3,500㎡、仮設工 一式						
3	成果 ■地区計画で定められた地区施設道路等が確保され、良好な居住環境の形成が図られた。						

(単位：円)

道路建設課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費	122～123	
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		一本松地区地区計画住環境整備事業（繰越明許費分）				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
6,758,000		6,375,364		—		382,636		94.3%	
1 事業目的		地区計画で定められた地区施設道路等の整備を行うことにより、地区環境の充実を図る。							
2 事業内容		一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、物件補償及び道路整備を実施した。 ■物件補償（工作物移転料、立竹木補償等） ・拡幅道路（区画道路第16号）：4件 ■舗装修繕工事 市道884号線（大字下新田地内） 延長：113.6m、幅員：5.3m 舗装工：不陸整正 610㎡、表層 610㎡							
3 成果		■地区計画で定められた地区施設道路等が確保され、良好な居住環境の形成が図られた。							

(単位：円)

道路建設課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		都市計画道路整備事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率	
129,831,000	129,829,123	0	1,877		100.0%		
1	事業目的 埼玉県農業大学校移転後の跡地及びその周辺地域を活用し、企業集積並びに「賑わい」と「憩い」の交流拠点を整備するため、周辺道路（都市計画道路川越鶴ヶ島線（市道1015-2号線・市道1015-1号線）及び都市計画道路鶴ヶ島南通り線（市道927-2号線））の整備を実施する。						
2	事業内容 都市計画道路（川越鶴ヶ島線（市道1015-2号線・市道1015-1号線）及び鶴ヶ島南通り線（市道927-2号線））の道路整備に伴う、用地取得及び物件補償を行った。 ■変動率調査業務 一式 ■土地鑑定評価業務 一式 ■用地交渉業務 7件 ■用地取得 5,414.11㎡ （市道1015-2号線 4,409.12㎡） （市道 927-2号線 1,004.99㎡） ■物件補償（工作物移転料、立竹木補償等） 5件						
3	成果 ■全体面積17,910.63㎡のうち5,414.11㎡を買収し、合計買収面積は11,702.07㎡となった。買収率では全体ベースで65.34%となり前年より30.23%増加し事業の推進を図った。						

(単位：円)

区画整理課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		08	土木費	03	都市計画費	03	土地区画整理費	128～129	
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		一本松土地区画整理事業特別会計繰出金				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
298,281,000		298,281,000		0		0		100.0%	
1 事業目的		区画整理によって、一本松地区の良質な市街地の形成及び住環境の整備改善を図る。							
2 事業内容		■一本松土地区画整理事業特別会計に対する一般会計からの繰出金。							
3 成果		平成28年度事業成果及び事業進捗 ■仮換地指定状況 約1,869㎡（進捗率88.5%） ■道路整備状況 約151m（進捗率70.3%） ■建物移転状況 2戸（進捗率95.2%）							

(単位：円)

区画整理課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	03	土地区画整理費	128～129
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		若葉駅西口土地区画整理事業特別会計繰出金			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
158,641,000		158,641,000	0		0		100.0%	
1 事業目的		区画整理によって、若葉駅西口地区の無秩序な住宅地開発を未然に防止し、駅前交通広場、道路、公園等の公共施設の整備改善を行うことにより、良好な居住環境を有した健全な市街地の形成を図る。						
2 事業内容		■若葉駅西口土地区画整理事業特別会計に対する一般会計からの繰出金。						
3 成果		平成28年度事業成果及び事業進捗 ■仮換地指定状況 約2,168㎡ (進捗率93.8%) ■道路整備状況 約466m (進捗率81.4%) ■建物移転状況 2戸 (進捗率82.9%)						

(単位：円)

都市施設保全課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		08	土木費	02	道路橋りょう費	02	道路維持管理費	122～123	
政策 1	健やかで安心できるまち		事業名		防犯灯LED化推進事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
1,868,000		1,867,464		0		536		100.0%	
1 事業目的		市内すべての防犯灯を視認性の高いLED灯に交換する導入事業（リース方式）を実施することにより、省エネルギーの推進と温室効果ガスの排出量の抑制を図るとともに、防犯環境の整備を図る。							
2 事業内容		■防犯灯のLED化 市内の防犯灯4,057基を平成27年度に策定したLED照明導入計画に基づき、LED化を実施した。 ・交換灯具内訳 蛍光灯 1,187基 水銀灯 2,850基 ナトリウム灯 20基 ・施工期間 平成28年9月23日～平成29年1月31日 ・リース期間 平成29年2月1日～平成39年1月31日							
3 成果		■LED灯の視認性の高さから防犯効果また省エネルギーの推進と温室効果ガスの排出量の抑制に大きな効果があった。 ■年間電気料は49.8%の削減（LED照明導入補助完了実績報告書） ■CO2排出量は65.7%の削減（LED照明導入補助完了実績報告書） ■市民からは「明るくなった」、「暗くて怖かった道が通れるようになった」等、好評の声を多数いただいた。							

(単位：円)

都市施設保全課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	05	公園費	130～131
政策 2	活力に満ちたまち			事業名		運動公園整備事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率	
90,195,000	79,633,276	0		10,561,724		88.3%		
1 事業目的		運動公園について、第二期整備を進める。						
2 事業内容		■平成28年度運動公園用地取得面積 3,501.71㎡ ※運動公園第二期第一次整備地面積 45,673.95㎡ ■取得筆数 6筆（7地権者）						
3 成果		■「運動公園第二期整備」については、平成28年度から平成37年度（10年間）を第一次暫定整備事業期間とし、農大跡地の活用と整合を図りながら進めている。平成28年度は0.4haの用地を取得し、市民が多目的に活動できる広場を確保した。						